

# 大学院医科栄養学研究科授業科目の履修等について

医学部学務課

(略)

## 4 修得すべき授業科目と単位数（修了要件）

### 1) 博士前期課程

博士前期課程の修了要件は、大学院に2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文についての審査及び最終試験に合格することとなっています。

単位の修得については、開設授業科目の中から必修科目6単位と選択科目26単位以上の合計32単位以上を履修する必要があります。

学位論文提出時には、必要単位を修得しておく必要があります。2年次からは研究指導に入りますので、1年次に修了要件を満たすよう計画的に単位を修得してください。

なお、履修する授業科目の選択にあたっては、予め指導教員の指導を受けなければなりません。e-learning または集中講義で受講できる科目がありますのでシラバスでご確認ください。

### 【人間栄養学コース】

履修に当たっては、全専攻系共通カリキュラム科目、各専攻系間共通カリキュラム科目および指定科目の中から、必修科目（臨床栄養学概論、健康科学特論、人間栄養学特論）6単位と選択科目から10単位を修得し、かつ、専門科目については、配属分野の授業科目（演習4単位及び特別実験12単位）を履修し、合計32単位を修得してください。

令和5年度から、宇宙栄養学コースが設置されています。

### 【宇宙栄養学コース】

本コースは、宇宙環境を主とした特殊な環境におけるヒトの健康・維持増進のために、栄養学から貢献できる人材を育成するために設置されました。具体的には、特殊な環境における疾患（骨粗鬆症、フレイル、サルコペニアなど）を栄養学の観点から予防・治療できる食材の開発や対応を指導できる人材の育成を目指しています。それゆえ、履修者は、必修科目（臨床栄養学概論、健康科学特論、人間栄養学特論）6単位と、全専攻系共通カリキュラム科目から宇宙と栄養・医学概論（2単位）、指定科目から宇宙運動学（2単位）及び特殊環境栄養学（2単位）を履修する必要があります。さらに、全専攻系共通カリキュラム科目、各専攻系間の共通カリキュラム科目及び指定科目の選択科目から4単位を履修し、かつ、専門科目については、配属分野の授業科目（演習4単位及び特別実験12単位）を履修し、合計32単位を修得してください。英語の学位論文の研究内容には、宇宙環境や災害時など特殊環境における健康の維持・増進に寄与する栄養学に関するものを含んで下さい。

### 【臨床栄養学コース】

履修者は、必修科目（臨床栄養学概論、健康科学特論、人間栄養学特論）6単位と、指定科目から臨床病態栄養学特論（2単位）、治療栄養管理学特論（2単位）、臨床栄養管理学演習（2単位）、臨床栄養管理学実習（4単位）の4科目と、専門科目から臨床栄養学演習（4単位）及び臨床栄養学特別実験（12単位）を履修する必要があります。

## 2) 博士後期課程

博士後期課程の修了要件は、大学院に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文についての審査及び最終試験に合格することとなっています。

必修科目2単位と選択科目14単位以上の合計16単位以上を履修する必要があります。

**学位論文提出時には、必要単位を修得しておく必要があります。2年次からは研究指導に入りますので、1年次に修了要件を満たすよう心掛けてください。**

なお、履修する授業科目の選択にあたっては、予め指導教員の指導を受けなければなりません。e-learning または集中講義で受講できる科目がありますのでシラバスでご確認ください。

### 【臨床栄養学コース】

履修者は、必修科目（先端健康科学特論）2単位以外に、選択科目から2単位、指定科目から治療栄養管理学実習（4単位）を履修し、専門科目から臨床栄養学セミナー（2単位）及び臨床栄養学実験（6単位）を履修する必要があります。

### 【人間栄養学コース】

履修に当たっては、全専攻系共通カリキュラム科目、各専攻系間共通カリキュラム科目および指定科目の中から、必修科目（先端健康科学特論）2単位と選択科目のうちから6単位を修得し、かつ、専門科目については、指導教員が担当する授業科目（セミナー2単位及び実験6単位）を履修し、合計16単位を修得してください。

また、博士前期課程・博士後期課程ともに、がん医療に携わるコメディカル養成コース【臨床腫瘍栄養学コース】が設置されています。臨床腫瘍栄養学コースの履修要件（授業科目・単位数）は別に定められています。（臨床腫瘍栄養学コース履修要覧で確認してください。）

令和7年度から、博士後期課程にも宇宙栄養学コースが設置される予定です。

### 【宇宙栄養学コース】

博士前期課程において設置した宇宙栄養学コースの目的「宇宙環境を主とした特殊な環境におけるヒトの健康・維持増進のために、栄養学から貢献できる人材を育成」をより高度に、グローバルな研究活動に発展させるために、本コースを博士後期課程にも設置する。本コースの履修者は、全専攻系共通カリキュラム科目、各専攻系間共通カリキュラム科目および指定科目の中から、必修科目（先端健康科学特論）2単位と選択科目のうちから「宇宙医学特論」「宇宙リハビリテーション医学」「災害栄養学」の6単位を修得し、かつ、専門科目については、指導教員が担当する授業科目（セミナー2単位及び実験6単位）を履修し、合計16単位を修得してください。但し、博士前期課程や徳島大学の履修証明プログラム制度により、「宇宙と栄養・医学概論」「宇宙運動学」「特殊環境栄養学」を履修済みのものは、「宇宙医学特論」「宇宙リハビリテーション医学」「災害栄養学」以外の選択科目から、6単位を修得することとする。英語の学位論文の研究内容には、宇宙環境や災害時など特殊環境における健康の維持・増進に寄与する栄養学に関するものを必ず含んで下さい。

# 「宇宙と栄養・医学概論」「宇宙運動学」「特殊環境栄養学」をそれぞれ「宇宙医学特論」「宇宙リハビリテーション医学」「災害栄養学」に読み替え、博士後期課程の講義とし、指定科目に加える。